

(様式3)

5 今年度の重点課題 (学校アクションプラン[計画])

その1

平成22年度 砺波工業高等学校アクションプラン - 1 -	
重点項目	1 学習活動 (教科指導)
重点課題	生徒の実態に対応した教科指導の充実と地域に根ざした開かれた学校を目指す。
現状	<ul style="list-style-type: none">・本校における普通教科と工業教科の先生との授業での交流は殆ど行われていなかった。また同一教科においても、お互いの授業を研究することは少なかった。このため、授業の進め方や指導方法をよりよくするため、継続的に研究する機会が必要である。・以前から、学校は閉鎖的であると言われていたが、近年、地域のイベントや奉仕活動に積極的に参加している。学習活動の成果も地域の人々に発表し、本校の理解の一助としたい。
達成目標	<ul style="list-style-type: none">・互見授業を実施。・校内課題研究発表大会を外部に公開する。
方策	<ul style="list-style-type: none">・年に2回、教員の互見授業週間を設定し互見授業を実施する。教員相互に授業方法や授業の工夫を研究する。・毎年2月中旬に実施している校内課題研究発表大会に3年生保護者の参加を求め、学習活動の成果を発表したい。

(評価規準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成22年度 砺波工業高等学校アクションプラン- 2 -	
重点項目	2 学校生活
重点課題	<ul style="list-style-type: none">・教育活動中の体調不良や負傷を未然に防ぎ、授業や部活動に集中できる、安全で快適な環境整備に努める。
現状	<ul style="list-style-type: none">・授業中や部活動中に起こる怪我や負傷の中には、気をつけていれば防げる場合が少なからずある。・体調不良を訴える生徒の中には、睡眠不足や食生活の乱れなど、自ら体調不良を招いていて、改善の兆しが見られない場合がある。高校生といえども、生活習慣の見直しが必要である。・机の落書き・破損、物の紛失が目立つ。公共の物を大切にする気持ちが希薄な者がいる。・美化週間中は教室及び廊下がとても綺麗になるが、その状態を保つことは難しい。・生徒保健委員会が保健業務の手伝いや、緒行事をこなすことに追われ、主体的な活動にならない。
達成目標	<ul style="list-style-type: none">・生徒保健委員会を各学期1回ずつ開催する。・教職員、生徒対象のAED講習会を実施する。
方策	<ul style="list-style-type: none">・生徒保健委員会を活性化し、生徒からの積極的な意見や提案を出す場となるようにする。・各科と連携して、授業や部活動中に起こる負傷の原因と行動パターンを探り、注意を喚起する。・「整理・整頓・清潔・躰・清掃」の砺波工業高校流『5S運動』を推進することにより、自分の身の回りの環境を整え、健康で快適な学校生活を送ることができるようにする。・AED講習会を、新入生と教職員対象に企画する。事前学習が必要なので、体育科と合同で検討。

(評価規準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)

平成22年度 砺波工業高等学校アクションプランー3ー	
重点項目	3 進路支援
重点課題	生徒一人一人に応じた就職・進学指導を充実することにより、確実な進路選択が出来るようにする。早い時点から進路意識を高める指導を行う。
現状	経済状況が低迷しているため、高卒予定者の求人は昨年度同様またはそれより減少すると予測される。この状況は就職だけでなく、進学にも大きく影響される。
達成目標	年度内進路決定者100%を目指す。
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問をして求人確保を行うとともに、卒業生の動向や求める人材の情報を収集し、指導に生かす。 ・1次不採用者の支援を十分に行い、ミスマッチに繋がらない指導を行う。

(評価規準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

平成22年度 砺波工業高等学校アクションプランー4ー	
重点項目	4 特別活動
重点課題	競技力の向上
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・練習成果が結果になかなか結びついていない。 ・部活動の活動現場になかなか指導者が出られない。怪我やトラブル防止の際、迅速に対応ができない。 ・中学まで地域のジュニアチームで活動した生徒/保護者と高校の部活動の指導が合わない状況が見受けられ活動に支障を来している。 ・レクリエーション目的の生徒と競技目的の生徒が混在するため、なかなか活性化につながらない。
達成目標	団体競技における上位入賞
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・部顧問の時間確保（会議の集約や遠征・試合前の会議を避けて欲しい。【月曜実施】） ＊生徒とともに行動することで個々の生徒に目を向けることができる。 ・顧問の研修や合同トレーニングの企画・外部研修の紹介。 ・各部において定期的に指導や運営に関する相互理解のため保護者会を各部で検討する。

(評価規準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)

平成22年度 砺波工業高等学校アクションプラン - 5 -

重点項目	5 学習活動（機械・電気・電子）		
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自ら目標を持って、自主的に資格検定に取り組む姿勢を持たせ、より高度な資格検定にも積極的にチャレンジさせる。 電気工事士資格取得の学習を通して、安全・効率を考えた技術・技能を習得させる。 積極的に資格取得に取り組み、家庭学習の大切さと自信を身に付けさせる。 		
現状	<ul style="list-style-type: none"> 全員受検している資格検定は定着しているが、希望者対象のものには積極的ではない。 一部の生徒は積極的であるが、全員が資格検定に積極的というわけではない。 学校では勉強するが、家庭学習する習慣があまりない。 基礎計算力不足である。 継続的な学習習慣がない。 学校での補習には参加しているが、家庭での学習が不足している。 		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ジュニアマイスター取得者数20パーセント増 技能検定取得者倍増 	<ul style="list-style-type: none"> 卒業時まで、第2種電気工事士の取得率80%以上 第1種電気工事士の取得者3人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ITパスポートの合格率80%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> 資格検定記録用紙を学期末に配布回収し、達成度を振り返らせる。 宿題や課題を与え、家庭学習する習慣をつけさせる。 受検時期や難易度を資格ガイドで示し、自主的に資格検定に取り組ませる。 資格検定を取得した生徒を写真や掲示、シルバークラウドプレートとゴールドプレートで顕彰し、他の生徒に動機付けさせる。 放課後の補習を、学科の体制として組み、主務、副務などを明確にし、教員チームで指導にあたる。 「部活動と資格取得との両立」の啓発に努める。 電気工事士の資格の有用性を理解させる。 受検希望者に対する指導体制の充実を図るとともに、家庭における学習のやり方も指導する。 合格者を増やすことにより、更に受検希望者を増やす。 		

(評価規準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状維持 D：現状より悪くなった)